



# ユーザーマニュアル for PowerCore 01

# サポート連絡先

---

## TC Support Interactive

TC Support Interactive (www.tcsupport.tc) は、オンラインのサポート及び情報提供のためのウェブサイトです。TC Support Interactive では、TC ソフトウェア／ハードウェア製品に関する一般的な質問の解答を、製品／カテゴリ／キーワード／フレーズから検索可能です。一度サイトで登録を行ってログインすれば、「My Stuff」セクションから、質問の状況を調べたり、製品マニュアル／ソフトウェア・アップデート／プリセット等のダウンロードが行えます。

データベースはTC製品に関する最新の情報が満載です。お求めの情報がデータベースにない場合は、質問を提出することも可能です。この場合は、TCのテクニカル・サポートのスタッフが電子メールでご連絡させていただきます。



### 連絡先

また、インターネット以外でのお問い合わせにつきましては、各地域のTC支社または輸入代理店までご連絡ください。

**TC ELECTRONIC A/S**  
**Customer Support**  
**Sindalsvej 34**  
**Risskov DK-8240**  
**Denmark**

**USA:**  
**TC Electronic, Inc.**  
**5706 Corsa Avenue, Suite 107**  
**Westlake Village, CA 91362**

[www.tcelectronic.com](http://www.tcelectronic.com)

© BY TC ELECTRONIC A/S 2007. ALL PRODUCT AND COMPANY NAMES ARE TRADEMARKS OF THEIR RESPECTIVE OWNERS. VST IS A TRADEMARK OF STEINBERG AG, AUDIO UNITS IS A TRADEMARK OF APPLE COMPUTER, INC.

ALL SPECIFICATIONS SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.

ALL RIGHTS RESERVED. TC Electronic is a TC Group company.

サポート連絡先 .....	2
目次 .....	3
イントロダクション .....	4
一般情報 .....	5
プラグイン概要 .....	6
一般情報 .....	8
パラメータ .....	9
MIDIインプレメンテーション .....	12
MIDIコントローラ・グラフィック・ガイド .....	14
技術仕様 .....	16

# イントロダクション

---

PowerCore インストゥルメント・フォーマットは、Logic、Nuendo、Cubase 等のホスト・アプリケーションから PowerCore の DSP を使用したバーチャル・シンセサイザーを使用することを可能とします。

PowerCore 01 はクラシックなアナログ・シンセをモデルとし、サンプル・メモリーに依存することなく真のオシレータをエミュレートした波形を生成します。汎用性の高いサウンドで、電子音楽のあらゆるジャンルにご活用いただけます。

## 動作環境

### Windows

PowerCore ソフトウェア、バージョン 3.0 以降  
Windows XP  
PIII 1.4 GHz 以上  
512 MB RAM  
VST 対応ホスト・アプリケーション  
ホスト・アプリケーションの動作条件を満たしたシステム

### Macintosh

PowerCore ソフトウェア、バージョン 3.0 以降  
Mac OS X (10.4 以上)  
G4 / G5 / Intel 搭載機 (1 GHz 以上)  
512 MB RAM  
VST / AU / RTAS\* 対応ホスト・アプリケーション  
ホスト・アプリケーションの動作条件を満たしたシステム

※ RTAS (Pro Tools) の対応は、FXpansion 社によるサードパーティー製 VST-RTAS アダプター (別売) 経由での動作となります。動作条件や互換性を含む詳細は TC Support Interactive をご参照ください。

## はじめに

### スクロール・ホイール対応

Windows XP / Mac OS X 共に、ホスト・アプリケーションが対応している場合は全てのパラメータをスクロール・ホイールから操作できます。マウスをパラメータの値フィールドの上に移動し、スクロール・ホイールを動かすと、パラメータの値を上下できます。

### キーボード・ショートカット

多くのホスト・アプリケーションでは、次のキーボード・ショートカットが使用できます。次のショートカットは、全てのパラメータに有効です。

### Mac OS X のショートカット

デフォルト復帰 = オプション

### Windows のショートカット

デフォルト復帰 = シフト + コントロール

## DSP 消費量

PowerCore 01 一つあたりの DSP 消費量は次の通りです (PowerCore X8 / FireWire / Compact / Express / mkII / Unplugged)。

### 44.1 kHz 時

モノラル : -

ステレオ : 22%

### 48 kHz 時

モノラル : -

ステレオ : 24%

### 88.2 kHz 時

モノラル : -

ステレオ : 46%

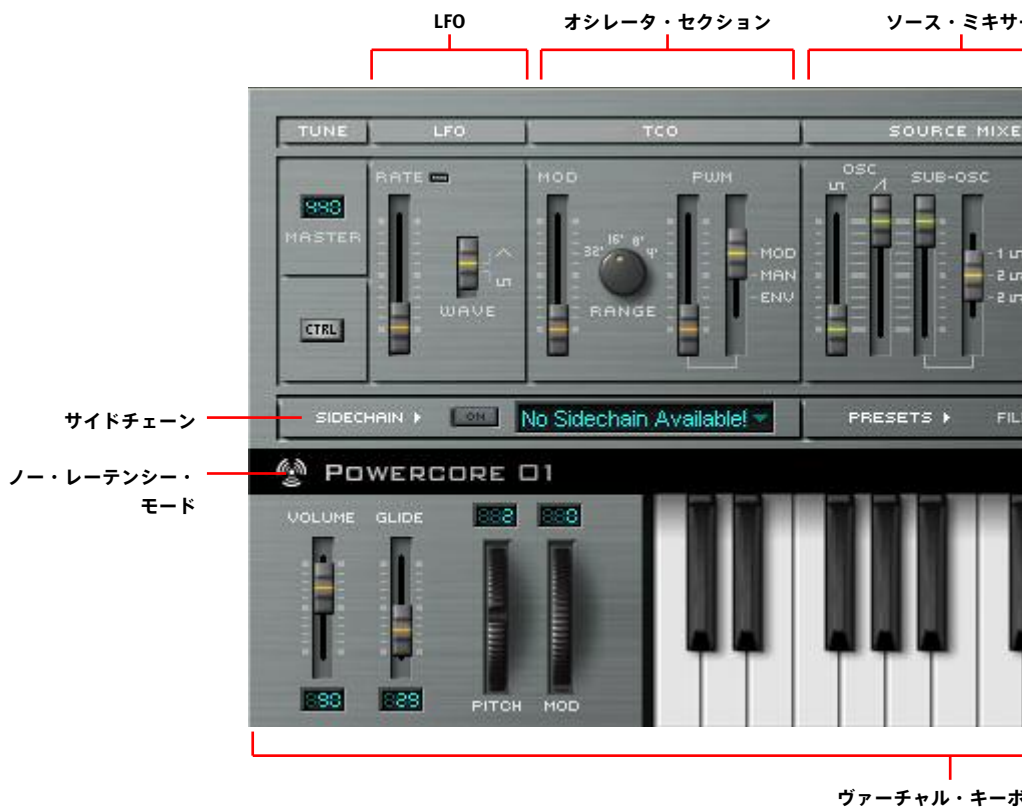
### 96 kHz 時

モノラル : -

ステレオ : 50%

# プラグイン概要

---



# プラグイン概要

---

フィルター・セクション      アンプリファイア- /  
エンベロープ・ジェネレーター



ボード

# 基本操作

---

## ダブルクリック

フェーダーやスライダーを操作する以外にも、パラメータをダブルクリックして値を直接入力できます。

## ノー・レーテンシー・モード

他の PowerCore プラグイン同様、PowerCore 01 シンセサイザー・プラグインをノー・レーテンシー・モードで使用することができます。プラグインを外部キーボード・コントローラから直接発音させる際に便利です。

ノー・レーテンシー・モードに入るには、PowerCore 01 プラグインの右下隅にある PowerCore ロゴをクリックします。このモードに入ると、ロゴが赤く光ります。

## ヴァーチャル・ヴェロシティ

バーチャル・キーボードは、クリックする位置によってベロシティが変わります。鍵盤の下の部分でクリックするとベロシティが高くなり、キーの上の部分（パラメータ・コントロール寄り）をクリックすると、ベロシティが低くなります。

## 外部サイドチェイン

### 概要

オーディオ・プロダクションにおけるダイナミクス処理のサイドチェインとは、一つのトラックの音声レベルの変動を別のトラックにインサートされたエフェクトのダイナミクス処理に適用することを指します。PowerCore パッケージには TC SideChainer プラグインが付属しており、PowerCore 01 を含むいくつかのプラグインと組み合わせることができます。

SideChainer プラグインの使用方法については、SideChainer プラグインのマニュアルをご参照ください。

### On

PowerCore 01 を SideChainer プラグインに反応させるには、ここをオンにした上で、ドロップダウン・メニューから起動しているどの SideChainer に連動させるかを選択します。



## Tune - チューニング・セクション

### Master - マスター

オシレーターの基準ピッチを設定します。設定レンジは430 Hz～450 Hzです。デフォルトの設定は440 Hzとなります。

## LFOセクション

### Rate - レート

LFOの周期を調節します。

### Wave - 波形

LFOの波形を指定します。Square（矩形波）とTriangle（三角波）が選択できます。

## TCOセクション

PowerCore 01のモノフォニック・オシレーターは、モデルとなったクラシックなアナログ・シンセと同じような動作をします。オシレータの周波数は矩形波、ノコギリ波ともに同一ですが、ソース・ミキサーでゲインを別個にコントロールできます。

### Mod - モジュレーション

オシレーターとサブオシレーターに対するピッチ・モジュレーションの量をコントロールします。このスライダーはピッチ・モジュレーションの量のみを定義し、モジュレーションの特性自体はLFOまたはENV 1セクションで調節します。

### Range - レンジ

オシレーターのオクターブを4'（高）から32'（低）の範囲で指定します。

### PWM - パルスワイズ・モジュレーション（パルス幅変調）

右のスライダーで、パルス幅変調の方法を選択します。LFOでパルス幅を変調させるMOD、PMWコントローラ（左のスライダー）でパルス幅を手動で指定するMAN（マニュアル）、TCAのエンベロープ・ジェネレーターでパルス幅を変調するENVと、3つの選択肢が用意されています。

# パラメータ

---

## Source Mixer - ソース・ミキサー・セクション

オシレーター／サブオシレーター／ノイズ・ジェネレーターの出カボリュームを指定します。サブオシレーターの波形選択もここで行ないます。

### Osc - オシレーター

波形別に音量を調節します。

### Sub Osc - サブオシレーター

左のスライダーはサブオシレーターの音量を指定します。右のスライダーでサブオシレーターの波形を選択します。選択肢は1 オクターブ下の矩形波、2 オクターブ下の矩形波、2 オクターブ下の非同期矩形波です。

### Noise - ノイズ

ノイズ・ジェネレーターの音量を指定します。

### SC (SideChain) - サイドチェイン

Sidechainセクションのオン／オフ・ボタンでサイドチェインをオンにすると、外部サイドチェインのダイナミクスでPowerCore 01のレベルをコントロールできます。ここでは、その適用量を指定します。

## TCFセクション

レゾナンス付の24dB ローパス・フィルタ (LPF) です。フィルタはエンベロープ・ジェネレーター、LFO、または後述のKey Followで変調できます。

### Freq - カットオフ周波数

LPFのカットオフ周波数です。設定レンジは20 Hz ~ 20 kHzです。

### Res - レゾナンス

カットオフ周波数近辺の周波数帯域をブーストします。最大値では、カットオフ周波数で自己発振します。

### Env - エンヴェロープ

TCAエンヴェロープによるカットオフ周波数の変調量を指定します。

### Mod - モジュレーション

LFOによるカットオフ周波数の変調量を指定します。

### Key - キー

キーボード・トラッキングによるカットオフ周波数の変調量を指定します。100% (フル) の設定では、キーボードの音程に対してサウンドの倍音構成が同一となります。それ以外の設定では、音程が高い程倍音が減り、丸い音となります。

## TCAセクション

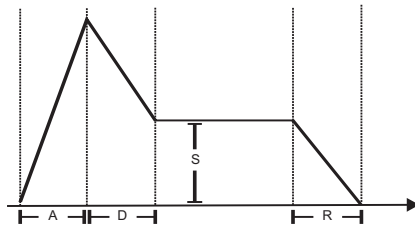
PowerCore 01のアンプリファイアー・モジュールです。音量の変調はEnv（エンヴェロープ）とGate（ゲート）が選択できます。Envはエンヴェロープ・ジェネレーターによる一般的なADSR形式、Gateはキーボードのゲートによる開閉のみのモジュレーションとなります。Gateを選択した場合、エンヴェロープ・ジェネレーターはTCF等他のモジュールに対するモジュレーション専用として使用できます。

### Env / Gate - エンヴェロープ / ゲート

アンプリファイアーのモジュレーション・ソースを選択します。

Envを選択すると、エンヴェロープ・ジェネレーターがアンプリファイアーを変調します。ADSR曲線で音量の変化を指定できます。

Gateを選択すると、キーが押されている間アンプリファイアーが開きます。ADSR換算では、 $A=0 / D=0 / S=127 / R=0$ の特性となります。



### A (Attack) - アタック

エンヴェロープ・ジェネレーターのアタック・タイムです。設定範囲は、1 ms～10秒です。

### D (Decay) - ディケイ

エンヴェロープ・ジェネレーターのディケイ・タイムです。設定範囲は、1 ms～10秒です。

### S (Sustain) - サステイン

エンヴェロープ・ジェネレーターのサステイン・レベルです。

### R (Release) - リリース

エンヴェロープ・ジェネレーターのリリース・タイムです。設定範囲は、1 ms～10秒です。

### Drive - ドライブ

信号レベルを上げ、歪みを生成させます。歪みの倍音成分により、ファットなサウンドが得られます。

# MIDI インプレメンテーション

---

## キーボード・セクション

### Volume - ボリューム

PowerCore 01のメイン・ボリュームを調節します。

### Glide - グライド

グライドとは、異なる音程に移動する際に、元のノートから新しいノートへと徐々に音程を移動させる効果です。ここで、音程移動に要する時間を指定します。多くの場合、クラシックなベースやシーケンサーのラインに応用されます。

### Pitch - ピッチベンド・ホイール

ピッチ（音程）を上下させます。ホイール上のエディット・フィールドから最大可変幅をセミトーン単位で指定できます。設定レンジは±12セミトーンです。

### Mod - モジュレーション・ホイール

ピッチ・モジュレーションの量を指定します。

## CTRL - コントロール

CTRL ボタンをクリックすることにより、MIDIコントローラのアサインメントや、その他のオプション設定を行なえます。

### VeloSense - ヴェロシティ・センス

ヴェロシティ・センシティビティを調節します。0の設定では感度はオフとなり、ヴェロシティは発音に影響しません。設定値が高い程、ヴェロシティに対する感度が高くなります。

### Keyboard Transpose - キーボード・トランスポーズ

画面上のヴァーチャル・キーボードのオクターブを変更します。MIDI ノートによる PowerCore 01のトーン・ジェネレーター自体の発音には影響を与えません。

### MIDI Channel - MIDIチャンネル

MIDIチャンネルを指定します。設定レンジは1～16です。

### Local Keyboard - ローカル・キーボード

ヴァーチャル・キーボードのローカル・コントロールをオン/オフします。

### Parameter Send - パラメータ・センド

パラメータ操作のMIDI送信をオン/オフします。オートメーション・データの送受信はオンで固定となっているため、この設定はオートメーションには影響しません。

### Parameter Receive - パラメータ・リシーブ

パラメータ操作のMIDI受信をオン/オフします。オートメーション・データの送受信はオンで固定となっているため、この設定はオートメーションには影響しません。

# MIDI インプレメンテーション

---

## MIDI コントローラ・チャート

CC#	パラメータ
1	Pitch Modulation
5	Glide Amount
7	Main Volume
26	LFO Rate
27	LFO Wave
40	TCO Range
45	MIX Square Osc Amount
46	MIX Saw Osc Amount
47	MIX Sub Osc Amount
48	MIX Noise Amount
49	MIX Sub Osc Mode
54	TCO Pulse Mode
55	TCO Pulse Amount
67	TCF Mod Amount
70	TCF Cut-off Amount
71	TCF Resonance Amount
72	TCF Env Amount
73	TCF Key Follow Amount
75	TCA Attack Time
76	TCA Decay Time
77	TCA Sustain Level
78	TCA Release Time
90	Master Tune
91	Pitch Bend Range
93	TCO Mod Amount
95	TCA Drive Amount
97	TCA Env Mode (Env/Gate)

## その他の受信 MIDI メッセージ

- Pitch Bend
- All Notes Off
- Program change

# MIDI コントローラ・グラフィック・ガイド

---



# MIDI コントローラ ・ グラフィック ・ ガイド

---



# 技術仕様

---

## 一般情報

ポリフォニー	モノフォニック
オシレーター	1 TCO、各波形ならびにサブオシレーター独立のレベル・コントロール搭載
TCF	レゾナンス付LPF、EG / LFO / キーボード・トラッキングによるモジュレーション
TCA	ADSR、EG / ゲートによるモジュレーション
LFO	波形 2 種類
キーボード	32 鍵 (ヴァーチャル)、ヴェロシティ対応
フロントパネル	ファイアー、ウォーター、ストーン、アッシュ